

平成25年度 県政世論調査

～調査ご協力のお願い～

県民の皆様には、日頃から県政の推進にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、山口県では、今後の県政運営と施策立案の基礎資料とするため、毎年、県内にお住まいの20歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、本調査票により率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答にあたっては、無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

ご記入にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
- ◇ 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ◇ 「その他」を選ばれた場合は、() 内に具体的に記入してください。
- ◇ 記入された「調査票」は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、7月1日（月）までにポストに投かんしてください。

※ 調査票にお名前を記入される必要はありません。

この調査について、ご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県 総合企画部 広報広聴課 広聴企画班

TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 (株)サーベイリサーチセンター

TEL 082-227-7531

最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。

Q1-1 今のお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (○は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

Q1-2 今のお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (○は1つ)

1. 満 足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不 満

Q1-3 これからのお宅の生活の見通しは・・・ (○は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗 い

Q2 あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

県に行っている広報についておたずねします。

Q3-1 あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」 | 8. 県が発行する各種パンフレット・チラシ |
| 2. 県政テレビ放送 | 9. 新聞報道 |
| 3. 県政ラジオ放送 | 10. テレビ報道 |
| 4. 商業施設の店内放送(ちよるるからのお知らせ) | 11. ラジオ放送 |
| 5. 県からの新聞広告 | 12. 市町広報紙 |
| 6. 県のホームページ | 13. 地上デジタル・データ放送 (NHK) |
| 7. 県のメールマガジン | 14. その他 () |

Q3-2 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」についておたずねします。「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|---------------|--------------------------|---------|
| 1. 読んでいる | 2. ざっと目を通している | 3. あることは知っているが
読んでいない | 4. 知らない |
|----------|---------------|--------------------------|---------|

↓
Q3-3にお進みください

→
Q3-4にお進みください

【Q3-2で「1. 読んでいる」「2. ざっと目を通している」と回答した方に】

Q3-3 「ふれあい山口」の読みやすさについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

1. 読みやすい	4. どちらかといえば読みにくい
2. どちらかといえば読みやすい	5. 読みにくい
3. どちらともいえない	

Q3-4 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。

(1) 次の番組を視聴（または聴取）されたことがありますか。

1、2、3から選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

(2) 視聴（または聴取）されたことがある場合は、その番組の印象を4、5、6から選んでください。

(〇はそれぞれ1つずつ)

	毎回ほとんど見ている (聴いている)	見たことがある (聴いたことがある)	ほとんど見たことはない (聴いたことはない)	大変好感がもてる	好感がもてる	好感がもてない
「夢づくり!山口」[KRY山口放送] 毎週日曜日 11:10~11:25	1	2	3	4	5	6
「全力!やまぐち」[TYSテレビ山口] 毎週木曜日 19:55~20:00	1	2	3	4	5	6
「なるほど山口~教えて!リカちゃん~」 [YAB山口朝日放送] 毎週月曜日 23:10~23:15	1	2	3	4	5	6
「ワンポイント県政」[KRY山口放送] 毎週水曜日 13:35~13:40	1	2	3	4	5	6
「FM県民ダイアリー」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 18:10~18:15	1	2	3	4	5	6
「情報BOX山口」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 7:39~7:40	1	2	3	4	5	6

Q3-5 「山口県の公式ホームページ」を利用されますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日	3. 月に数回程度	5. 利用したことがない
2. 週に2回~3回程度	4. 年に数回以下	

Q4-1へ

【Q3-5で利用したことがあると回答した方に】

Q3-6 「山口県の公式ホームページ」は平成25年4月にリニューアルしました。リニューアル後のホームページの印象を選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

(1) デザインや色合い	1. 大変良い	2. 良い	3. 悪い	4. 利用していないので、わからない
(2) トップページの各メニューやリンクの配置	1. 大変わかりやすい	2. わかりやすい	3. わかりにくい	4. 利用していないので、わからない
(3) 情報の分け方(くらし・環境等の6つ分類)	1. 大変わかりやすい	2. わかりやすい	3. わかりにくい	4. 利用していないので、わからない

県の取組に対する実感についておたずねします。

山口県では、県民誰もが明日に希望を持ち、「ここに生まれ、育ち、働き、住んで本当に良かった」と実感していただけるよう、県づくりの目標である「輝く、夢あふれる山口県」の実現に向けて、さまざまな取組を進めています。ついては、取組の参考としますので、次の問いにお答えください。

Q4-1 あなたにとって、山口県は住み良い県だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 住み良い県だと思う | 3. どちらかといえば住み良い県だとは思わない |
| 2. どちらかといえば住み良い県だと思う | 4. 住み良い県だとは思わない |

Q4-2 あなたは、山口県にこれからも住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. これからも住み続けたい | 3. 機会があれば県外に移りたい |
| 2. 可能な限りこれからも住み続けたい | 4. 県外に移りたい |

Q4-3 次の各項目におけるあなたの実感についておたずねします。
いずれか1つを○で囲んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【1. 産業力・観光力の増強】		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
1	産業や国民生活に必要な物資の流通に山口県内の港が利用されている	1	2	3	4	5
2	高速道路などのインターチェンジや駅、空港に行くまでの道路が整備されている	1	2	3	4	5
3	企業誘致や大学等と連携した技術開発など、県内産業の活性化に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
4	県外からの企業の誘致や県内企業の設備投資が進み、県内経済の活性化が図られている	1	2	3	4	5
5	相談窓口の設置や融資制度など、新規創業や中小企業の経営安定・新事業展開等に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
6	中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携して新商品の開発等を行う農商工連携の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
7	農林水産業者が地域の産物を有効に活用し、自らが加工、流通・販売等のサービスに取り組む、6次産業化の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
8	技能・技術の継承や技能の向上など、ものづくり産業を支える技能者を育成するための取組が進められている	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらかといえそう思う	どちらともいえない	どちらかといえそうは思わない	そうは思わない
9	農林水産業への就業機会が増えている	1	2	3	4	5
10	若者就職支援センターの取組など、若者が県内で就職するための支援が充実している	1	2	3	4	5
11	県産農林水産物等の需要拡大を進めるため、味や品質に優れる「やまぐちブランド」の育成やブランドの普及に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
12	農林水産業の中核経営体（一定規模以上の事業や雇用を行う者）への経営安定のための支援が充実している	1	2	3	4	5
13	水田における畑作物（麦・大豆・野菜等）の作付けなど、農山漁村の資源を有効に活用する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
14	「(株)おいでませ山口県」や「山口県PR本部長ちよるる」の活用など、山口県の知名度向上に向けた情報発信が進んでいる	1	2	3	4	5
15	旅行形態や観光ニーズの多様化等に対応した県内観光地の魅力向上の取組が進んでいる	1	2	3	4	5

【2. 人財力の育成】

16	人財育成のための研修機会や施設が充実している	1	2	3	4	5
17	育児をしながら仕事ができる環境が充実している	1	2	3	4	5
18	乳幼児や多子世帯に対する経済的支援が充実している	1	2	3	4	5
19	子育ての悩みを相談できる環境が充実している	1	2	3	4	5
20	小・中学校全学年35人学級化や複数教員による指導などの取組により、子どもたちが学校で教育を受ける環境が充実している	1	2	3	4	5
21	住民による学校教育活動への支援や地域における子どもの活動への学校の協力など、学校と地域が連携した取組が進んでいる	1	2	3	4	5
22	スポーツ推進拠点の整備やイベントの開催など、スポーツ活動に親しむ機会に恵まれている	1	2	3	4	5
23	文化芸術活動（観覧、鑑賞、創作、出演、企画制作、文化ボランティア等）が盛んに行われている	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
24	ボランティアなどの県民活動が活発である	1	2	3	4	5
25	一人ひとりの人権が尊重されている	1	2	3	4	5
26	障害のある人が、障害の程度や特性等に応じ、就労やスポーツなどの社会参加ができる	1	2	3	4	5
27	ユニバーサルデザインの考え方が広く県民に周知されている	1	2	3	4	5
28	男女が性別にかかわらず、個性や能力を發揮できる	1	2	3	4	5
29	高齢者などシニアが社会参加する機会が増えている	1	2	3	4	5
30	平成27年開催の「第28回全国健康福祉祭やまぐち大会（ねんりんピックおいでませ！やまぐち2015）」に関心がある	1	2	3	4	5
31	都市圏等に居住する学生や現役世代など、幅広い世代の方への県内移住（UJIターン）に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5

【3. 安心・安全力の確保】

32	災害時に対する不安が小さい	1	2	3	4	5
33	救急時に対する不安が小さい	1	2	3	4	5
34	犯罪が少なく、治安に対する不安が小さい	1	2	3	4	5
35	安全性の高い食品が手に入りやすい	1	2	3	4	5
36	交通ルール・交通マナーが守られている	1	2	3	4	5
37	病院や診療所などの医療機関が充実している	1	2	3	4	5
38	がん患者やその家族の方が安心して働き、暮らすことのできるサポートが充実している	1	2	3	4	5
39	健康づくりのための情報提供や、健康づくりを実践できる機会が充実している	1	2	3	4	5
40	高齢者が安心して生活できる制度や地域の支え合いの取組が進んでいる	1	2	3	4	5
41	障害のある人が安心して生活できる制度や地域の支え合いの取組が進んでいる	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
42	「やまぐち森林づくり県民税」を活用し、森林の多面的な機能を持続的に発揮させるための森林づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
43	地球温暖化対策の意識が高まり、太陽光発電システムなどの再生可能エネルギーの導入が進んでいる	1	2	3	4	5
44	自然とふれあえる場の整備や自然環境を守る取組が進んでいる	1	2	3	4	5
45	荒天時でも安心して走行できる道路が整備されている	1	2	3	4	5

【4. 県民くらし満足度向上】

46	住民に身近な行政は、できる限り住民に身近な市町で行えるよう、県から市町への権限移譲が進んでいる	1	2	3	4	5
47	中山間地域や離島地域において、豊かな自然環境の保全や地域の伝統行事などの地域活動が行われている	1	2	3	4	5
48	道の駅、農林漁家民宿、農業体験施設などで都市と農山漁村との交流が行われている	1	2	3	4	5
49	山口市阿知須きらら浜で、平成27年に開催される「世界スカウトジャンボリー」のPRが進んでいる	1	2	3	4	5
50	空港（山口宇部空港・岩国錦帯橋空港）の飛行機便が利用しやすい	1	2	3	4	5
51	通勤・通学・通院・買い物等で、鉄道やバスが利用しやすい	1	2	3	4	5

【5. 山口県民力に相応しい行政システムづくり】

52	行政の効率化や歳入の確保の取組などが進んでいる	1	2	3	4	5
----	-------------------------	---	---	---	---	---

Q4-4 Q4-3に掲げる項目について、より良い実感を持っていただくために必要であると思う事項があれば、その内容を記述してください。

その他県が取組を進めている9項目についておたずねします。

1 防災・減災対策について

Q5-1 過去に豪雨や台風などにより自然災害の被害が発生していますが、あなたが不安に思う自然災害はどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 地震 | 5. 高潮 |
| 2. 津波 | 6. 土砂災害 |
| 3. 台風 | 7. 不安はない |
| 4. 集中豪雨 | 8. わからない |

Q5-2 あなたの家庭では、台風や地震などの災害に備え、どのような防災対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 食料や飲料水を備蓄している | 4. 家具などを固定化し、転倒防止を図っている |
| 2. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している | 5. 住宅の耐震化・補強工事を行っている |
| 3. 家族との連絡方法・待ち合わせ場所を決めている | 6. 避難場所や避難経路を確認し、決めている |
| | 7. その他 () |
| | 8. 特に対策をとっていない |

Q5-3 あなたは、過去1年間に、お住まいの地域や職場での防災活動(防災訓練、研修・講演)に参加したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 地域の防災活動に参加した | 3. 地域と職場等、両方の防災活動に参加した |
| 2. 職場等の防災活動に参加した | 4. 参加していない |

2 スポーツ活動の実施状況について

Q6-1 あなたは、過去1年間に、スポーツを行いましたか。(〇は1つ)

※「スポーツ」：陸上競技・水泳・野球・サッカー等の他、グラウンドゴルフ・インディアカ等のレクリエーションスポーツ、ハイキング・釣り等の野外活動及びウォーキング・軽い体操を含みます。

1. スポーツをした

2. スポーツはしなかった

→Q6-4へ

【Q6-1で「1. スポーツをした」と回答した方に】

Q6-2 どれくらいの頻度でスポーツを行いましたか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 週に3日以上 (年150日を超える程度) | 4. 3か月に1～2日程度 (年4～11日程度) |
| 2. 週に1～2日程度 (年51～150日程度) | 5. 年に1～3日程度 |
| 3. 月に1～3日程度 (年12～50日程度) | |

Q6-3 スポーツを行った理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 健康・体力づくり | 6. 自己の記録や能力の向上 |
| 2. 楽しみ・気晴らし | 7. 精神の修養や訓練 |
| 3. 運動不足解消 | 8. 地域交流の場への参加 |
| 4. 友人・仲間との交流 | 9. その他 () |
| 5. 美容や肥満解消 | |

【Q6-1で「2. スポーツはしなかった」と回答した方に】

Q6-4 スポーツを行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が多忙 | 7. 場所や施設がない |
| 2. 体が弱い | 8. 指導者がいない |
| 3. 年を取った | 9. 機会がない |
| 4. スポーツは好きでない | 10. その他 () |
| 5. 仲間がいない | 11. 特に理由はない |
| 6. お金が掛かる | |

【全ての方に】

Q6-5 今後どのようなスポーツ活動をしてみたいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. ウォーキング・ラジオ体操など気軽に出来る運動 | 4. スポーツボランティア・地域のスポーツ行事のお世話 |
| 2. 陸上競技・水泳・野球・サッカーなどのスポーツ (種目:) | 5. その他 () |
| 3. スポーツ観戦・応援 | 6. 特にしてみたいと思わない |

3 ふるさと産業の振興について

山口県では、平成20年12月に、他県に例のない条例として、農林水産業に限らず、山口県内で生産活動やサービスの提供を行うすべての産業を対象とした「山口県ふるさと産業振興条例」を制定しました。

この条例では、本県の産業振興と経済活性化を図るため、県民、事業者・関係団体、市町・県が協働して「ふるさと産業」の振興に取り組むこととしており、県民の皆さんには、「ふるさと産業」によって製造・加工・提供される県産品・サービスを積極的に消費・利用するよう努めていただくこととしています。

※「ふるさと産業」とは、山口県内で生産活動やサービスの提供を行うすべての産業をいいます。

例) 県内で生産されるお米や野菜、魚などの農林水産物、電機製品や日用雑貨などの工業製品、レストランやホテルなどのサービス業

Q7-1 あなたは、「山口県ふるさと産業振興条例」についてご存じですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない (今回の調査で初めて聞いた場合を含む) |
|----------|-----------------------------|

Q7-2 あなたは、「ふるさと産業」によって製造・加工・提供される県産品・サービスを積極的に消費・利用すべきだと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

Q7-3 「ふるさと産業」によって製造・加工・提供される県産品・サービスの消費・利用を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 優良な県産品を「県推奨品」として認定し、冊子やホームページで紹介する | 4. テレビやラジオなどの広報媒体を積極的に活用し、意識啓発を図る |
| 2. 優良な県産品を一堂に集めた展示・販売イベントを開催する | 5. パソコン・携帯端末で情報が収集できるように情報発信する |
| 3. 各地域の商店街や大型商業施設などで地産・地消イベントを開催する | 6. その他() |

4 県民活動について

「**県民活動**」とは、営利を目的としない県民の自主的・主体的な社会参加活動で不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを目的とする活動であり、活動の形態としては、コミュニティ活動（地域住民活動）、ボランティア活動（個人の自発的な意思に基づく活動）、NPO活動（一定の規模を備えた組織的な活動）をいいます。

Q8-1 あなたは、地域の清掃やスポーツ行事、まちづくり、リサイクル、高齢者や障害者のための福祉、子育て支援など、仕事以外で地域や社会のために活動したことはありますか。
(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 活動したことがある | 2. 活動したことがない |
|--------------|--------------|

Q8-2 あなたは、今後このような活動をしたしたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. したいと思う →Q8-4へ | 2. したいと思わない |
|------------------|-------------|

【Q8-2で「2. したいと思わない」と回答した方に】

Q8-3 その理由を、次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 活動する時間がない | 5. 健康や体力に問題がある |
| 2. 一緒に活動する仲間がいない | 6. したいことがない |
| 3. 活動する資金がない | 7. 何をしてもよいかわからない |
| 4. 情報やきっかけがない | 8. その他 () |

Q8-4 組織的かつ継続的に県民活動を行うことを主な目的とし、宗教・政治活動を主な目的とせず、営利または選挙活動を目的としない団体を「**県民活動団体**」といいます。
あなたは、県民活動団体に寄付をしたことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. したことがある →Q9-1へ | 2. したことがない |
|-------------------|------------|

【Q8-4で「2. したことがない」と回答した方に】

Q8-5 県民活動団体は地域の課題を解決する公益的活動を行っていますが、非営利であるため寄付が重要な財源となっています。
あなたは、今後県民活動団体に寄付したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ぜひ寄付したい | 3. 寄付はしたくない |
| 2. 寄付してもよい | 4. わからない |

5 地球温暖化について

Q9-1 あなたは、「地球温暖化」に関心をお持ちですか。(〇は1つ)

1. かなり関心がある	4. 全く関心がない
2. 少し関心がある	5. その他 ()
3. あまり関心がない	

Q9-2 あなたは、環境に関する情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

1. マスコミの報道 (新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)	5. インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等
2. 講演会・シンポジウム等への参加	6. 家族・友人との会話
3. 行政・民間団体等のパンフレット	7. その他 ()
4. 市民団体・町内会等での活動	

Q9-3 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。いずれか1つを○で囲んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

家庭での省エネルギーの取組	実施している	たまに実施している	実施していない
1. 夏に緑のカーテン (※1) を作って、冷房の時間を短くする	1	2	3
2. 使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない	1	2	3
3. エアコンの設定温度を適切 (冷房: 28℃、暖房: 20℃) に調整する	1	2	3
4. 家電製品を購入する際、省エネ機器 (※2) を積極的に選択する	1	2	3
5. 自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関 (バス、鉄道等) の利用や相乗りをする	1	2	3
6. ノーマイカーデーなど、自家用車を使わない日を設けている	1	2	3
7. 自動車のエコドライブ (※3) をしている	1	2	3
新エネルギー・省エネルギー機器等の設置	設置済	設置予定	予定なし
1. 太陽光発電	1	2	3
2. 太陽熱温水器	1	2	3
3. 高効率給湯器 (※4)	1	2	3
4. 地中熱利用空調設備	1	2	3
5. 電気自動車	1	2	3
6. ハイブリッド自動車	1	2	3
7. 燃費の優れた自動車 (※5)	1	2	3
8. 省エネ住宅 (二重サッシ、外壁の断熱等)	1	2	3

※1 「緑のカーテン」: ニガウリなどを利用して、夏の日射しをさえぎる自然のカーテンのこと

※2 「省エネ機器」: 「緑の省エネラベル」がついていますので、確認してください。

※3 「エコドライブ」: 急発進・急加速をしない、タイヤの空気圧を適切にする、アイドリングストップ等

※4 「高効率給湯器」: 給湯熱効率が90%以上である給湯器 (エコキュート、潜熱回収型給湯器など) のこと

※5 「燃費の優れた自動車」: 国が認定した車種には緑のステッカーがついており、自動車検査証の備考欄に「平成22年度燃費基準達成車」などと表示されています。

Q9-4 温暖化防止行動を行う場合、取り組みにくい理由は何ですか。現在活発に行動されている方も、取組スタート当初の頃を思い出して記入してください。(〇は3つまで)

1. 具体的に何をしてもよいかわからないから	5. 家族の協力が得られないから
2. なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つかわからないから	6. 自分一人で頑張っても、社会全体でみるとほとんど変わらないと思うから
3. 我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適な生活を送りたいから	7. 企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから
4. この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから	8. その他()

Q9-5 あなたは、「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない
---------	------------	----------

6 食の安心・安全について

Q10-1 あなたは、日常の生活で食品に不安をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 非常に不安	2. 少し不安	3. 不安はない
----------	---------	----------

Q10-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。いずれか1つを○で囲んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	非常に不安	少し不安	不安はない	わからない
1. 細菌やウイルスなどによる食中毒	1	2	3	4
2. 農産物への農薬等の残留	1	2	3	4
3. 食品添加物の安全性	1	2	3	4
4. 輸入食品の安全性	1	2	3	4
5. 食品の産地表示の信頼性	1	2	3	4
6. 食品の期限表示の信頼性	1	2	3	4
7. アレルギー物質の含有	1	2	3	4
8. BSE (牛海綿状脳症)	1	2	3	4
9. 遺伝子組換え食品の安全性	1	2	3	4
10. ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	1	2	3	4
11. 放射性物質による汚染	1	2	3	4

Q10-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関係事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」は、どのような取組が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 法令遵守などの倫理意識の向上 | 6. 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供 |
| 2. 農薬や食品添加物などの適正な使用 | 7. 生産方法や製造方法などの積極的な情報提供 |
| 3. 検査などの自主的な取組の徹底 | 8. その他（ ） |
| 4. 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底 | |
| 5. 施設見学などの消費者との意見交換の開催 | |

Q10-4 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「消費者」は、どのような取組が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得 | 4. 食品関係事業者等との交流（顔の見える関係の構築） |
| 2. 食品表示制度の理解と購入時における確認 | 5. 行政主催の講習会等への参加 |
| 3. 見た目や値段より安全性の重視 | 6. 行政の取組への提言 |
| | 7. その他（ ） |

Q10-5 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「県」は、どのような対策に力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底 | 4. 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進 |
| 2. 食品に対する検査の徹底と結果の公表 | 5. 消費者の声を施策に反映させる仕組みづくり |
| 3. 食品の安全性等に関する正確な情報の迅速な提供 | 6. 危機管理などの体制の整備 |
| | 7. その他（ ） |

7 食育について

Q11-1 「食育」とは、「食」をめぐる状況の変化に伴うさまざまな問題に対処し、その解決を目指した取組をいいます。

あなたは、「食育」について関心がありますか。(〇は1つ)

1. 関心がある	4. 関心がない
2. どちらかといえば関心がある	5. わからない
3. どちらかといえば関心がない	

Q11-2 あなたは、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善のために、適切な食事または定期的な運動を継続的に実践していますか。(〇は1つ)

1. 実践して、半年以上継続している	4. 現在はしていないが、近いうちにしようと思っ ている
2. 実践しているが、半年未満である	5. 現在していないし、しようとも思わない
3. 時々気をつけているが、継続的ではない	

Q11-3 家族と同居している方のみお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない
朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか	1	2	3	4	5
夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか	1	2	3	4	5

Q11-4 あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を参考にしていますか。(〇は3つまで)

1. 食事バランスガイド (※1)	5. 3色分類 (※5)
2. 食生活指針 (※2)	6. その他の指針
3. 日本人の食事摂取基準 (※3)	7. 特に参考にしていない
4. 6つの基礎食品 (※4)	8. わからない

※1 「食事バランスガイド」：「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの

※2 「食生活指針」：望ましい食生活を実践するための指針

※3 「日本人の食事摂取基準」：1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの

※4 「6つの基礎食品」：栄養成分の類似している食品を6群に分類したもの

※5 「3色分類」：食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの

Q11-5 あなたは、噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか。(〇は1つ)

1. 関心がある	4. 関心がない
2. どちらかといえば関心がある	5. わからない
3. どちらかといえば関心がない	

8 地産・地消の推進について

Q12-1 県内で生産された農水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。
(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1. よく知っており、意識して県産農水産物を購入するようにしている | 3. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 2. 知っているが、買い物の際には特に意識していない | 4. 初めて聞いた言葉である |

Q12-2 県では、県産農林水産物等の需要拡大を進めるため、味や品質に優れる「やまぐちブランド」の育成に取り組んでいます。あなたは、「やまぐちブランド」に登録された商品を積極的に食べたり、利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

※「やまぐちブランド」とは、山口県で生産される農林水産物及び主な原材料が山口県産100%の加工品を対象に、味や品質を重視した独自の基準を設けて厳選し、登録した商品です。平成25年5月に、萩たまげなす、長州黒かしわ等26商品が登録されました。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. 関心がない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

Q12-3 県では、木材の地産・地消を進めるため、優良県産木材を利用して住宅を新築される方に50万円を助成する制度(「やまぐち木の家住宅助成制度」)を設けています。あなたは、「やまぐち木の家住宅助成制度」をご存じですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|-------------------------|----------------|
| 1. 知っている | 2. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない | 3. 初めて聞いた言葉である |
|----------|-------------------------|----------------|

9 「やまぐち森林づくり県民税」について

Q13-1 近年、森林の荒廃が問題となっていますが、あなたは、森林の持っているどのような働きをご存じですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 水を蓄える働き | 6. 防風や防音など、快適な生活環境をつくる働き |
| 2. 洪水や土砂の流出を防ぐ働き | 7. 緑豊かな美しい景観をつくる働き |
| 3. 二酸化炭素などを吸収し、地球温暖化を防止する働き | 8. 木材やきのこなど、生活に欠かせない林産物を生み出す働き |
| 4. 鳥や植物など、さまざまな野生動植物の生息の場としての働き | 9. その他 () |
| 5. レクリエーションの場などの提供や、いやしを与えてくれる働き | 10. 知らない |

Q13-2 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。

あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことがあるが、 詳しい内容は知らない	3. 知らない
----------	-----------------------------	---------

→ 裏面へ

【Q13-2で「1. 知っている」と回答した方に】

Q13-3 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。(○はいくつでも)

1. 公益森林整備事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部を伐採し、針葉樹と広葉樹の入り混じった森林へ転換）	3. 魚つき保安林等海岸林整備事業（荒廃が著しい海岸林を整備）
2. 竹繁茂防止緊急対策事業（繁茂した竹林の伐採）	4. 森林づくり活動支援事業（ボランティア団体等への支援）
	5. 事業の内容は知らない

裏面にも、おたずねがございますので、ご記入をよろしくお願いします。

最後に、あなたご自身のことについて、おたずねします。

F1 あなたの性別は。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F2 あなたの年代は。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

F3 あなたの職業は。(〇は主なものに1つ)

- | | | |
|----------|---|----------|
| 自営の方 | ⎧ 1. 農林漁業 (家族従業者を含む)
2. 商工サービス業 (家族従業者を含む)・自由業 | 6. 主婦・主夫 |
| | | 7. 学生 |
| 雇用されている方 | 3. 管理職 | 8. 無職 |
| | 4. 事務職・専門技術職 (事務員、技師、研究者、医師・看護師、教員など) | |
| | 5. 技能職・労務職 (工員、店員、消防士、運転士など) | |

F4 あなたの家族構成は。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 1人世帯 | 4. 親と子どもと孫 (3世代) |
| 2. 夫婦のみ (1世代) | 5. その他 () |
| 3. 自分 (たち) と子ども、または親と自分 (たち) (2世代) | |

F5 こちらにお住まいになって何年ですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 3年未満 | 3. 5～10年未満 | 5. 15～20年未満 |
| 2. 3～5年未満 | 4. 10～15年未満 | 6. 20年以上 |

F6 あなたのお住まいはどちらですか。(〇は1つ) (町・字名までの記入で結構です。)

市・町名

字名

_____市・町

_____ (町など)

本調査へご協力いただき、大変ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) により、7月1日(月)までにご投かんください。